

新市立病院建設調査特別委員会

日時 令和3年6月16日(水)

午前10時

場所 7階 委員会室

1 開 会

2 挨拶

3 請願等審査

陳情第21号「新市立病院建設計画(案)の取り扱いと地域住民への十分な説明を求める陳情」に係る審査について

(1) 当局説明・質疑

(2) 自由討議

(3) 討論

(4) 採決

4 その他

5 閉 会

【説明者側の出席者】

市長部局	小沢 昌記	市長
	高橋 利徳	福祉部長
	千田 嘉宏	福祉部長寿社会課長
医療局	岩村 正明	病院事業管理者
	朝日田 倫明	経営管理部長 兼 新市立病院建設準備室長
	岩渕 清彦	経営管理部 経営管理課長
	家子 剛	経営管理部 新市立病院建設準備室行政専門監
	山形 直見	総合水沢病院 事務局 事務長
	高橋 功	まごころ病院 事務局 事務長
	高橋 純	前沢診療所 事務局 事務長
	高橋 馨	衣川診療所 事務局 事務長

受 理 番 号	陳情第 21 号
件 名	新市立病院建設計画 (案) の取り扱いと地域住民への十分な説明を求める陳情
受 理 年 月 日	令和 3 年 5 月 31 日
要 旨	<p>令和 3 年 3 月 25 日の新市立病院建設調査特別委員会において、市側から衣川診療所を無床化し、総合水沢病院、まごころ病院、前沢診療所を廃止して令和 7 年度中に新市立病院を開院するという計画案が示され、前沢地域の住民は大変驚いている。前沢診療所は、平成 10 年に旧前沢町民の健康増進のための健康管理総合センターと介護を必要とする方々や介護予防を包括的に支援する介護センターを併設して現在地に建設され、以来前沢地域住民に係る保健・医療・福祉・介護全般を担ってきた。一時期医師の退職により休診の時期もあったが、疾病予防を中心とした健康教室を各地で開催するなど地域包括医療に取り組み、前沢はもとより市内全域、さらに近隣自治体からも患者が多数訪れるようになった。年々患者数が増えており、今後高齢化が進行し、医療需要が高まることが予想される状況下において、住民に寄り添う身近な医療機関としての前沢診療所への期待は高まる一方である。</p> <p>よって、今後市から市立医療機関の再編案に係わる具体像が示されるに当たり、前沢診療所の廃止について市当局による住民への説明責任がしっかり果たされるよう陳情する。</p>
提 出 者	奥州市前沢白山字保志場 58 番地 安心して暮らせる前沢の医療を守る会 会長 鈴木 秀悦
紹 介 議 員	
付 託 委 員 会	新市立病院建設調査特別委員会
備 考	

令和3年5月31日

陳 情 書

奥州市議会
議長 小野寺 隆夫 様安心して暮らせる前沢の医療を守る会
会長 鈴木 秀悦
奥州市前沢白山字保志場 58 番地
(事務局:奥州市前沢古城字川原前 40-1)新市立病院建設計画(案)の取り扱いと
地域住民への十分な説明を求める陳情

貴職におかれましては市政の更なる発展、市民福祉の向上のために日夜ご尽力いただいていることに対しまして衷心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、3月25日の新市立病院建設調査特別委員会において市側から衣川診療所を無床化し、総合水沢病院、まごころ病院、前沢診療所を廃止して3医療機関を統合し、令和7年度中に新市立病院を開院するという計画案が示されましたが、私達前沢地域の住民は寝耳に水で大変驚きました。

ご存知のように前沢診療所は、平成10年に旧前沢町民の健康増進のための健康管理総合センターと介護を必要とする方々や介護予防を包括的に支援する介護センターとを併設して現在地に建設され、以来前沢地域住民に係る保健・医療・福祉・介護全般を担ってまいりました。

一時期医師の退職により休診の時期もありましたが、平成28年4月に現在の鈴木順所長が赴任してからは「思いやりの心を持ち身体も心もともに診る、頼れるかかりつけの診療所」のスローガンの下、疾病予防を中心とした健康教室を各地で開催するなど地域包括医療に取り組み、前沢はもとより市内全域さらには近隣自治体からも患者が多数訪れるようになり年々患者数が増えており、今後高齢化が進行し医療需要が高まることが予想される状況下において、住民に寄り添う身近な医療機関としての前沢診療所への期待は高まる一方です。

つきましては、今後市から市立医療機関の再編案に係わる具体像が示されるにあたり、前沢診療所の廃止については、議会において十分に議論されるものと確信しておりますが、同時に、市当局による住民への説明責任がしっかり果たされるようご支援頂きますよう陳情申し上げます。



(1) 市立病院の経営状況について

1 常勤医師数の推移（各年度の4/1時点）

施設名	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
総合水沢病院	19	20	20	18	15	10	10
まごころ病院	9	9	10	10	9	8	8
前沢診療所	0	1	1	1	1	1	1
衣川診療所	2	2	2	2	1	1	1
衣川歯科診療所	1	1	1	1	1	1	1
合計	31	33	34	32	27	21	21

2 奨学生の義務履行の状況（各年度の4/1時点）

施設名	勤務	2年度	3年度	増減
総合水沢病院	常勤	0	1	1
	応援診療	2	3	1
	小計	2	4	2

3 患者数

施設名	内訳	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
総合水沢病院	入院患者数	48,411	46,535	45,071	36,948	26,793	19,023
	外来患者数	88,952	87,476	86,037	75,423	64,353	51,309
	小計	137,363	134,011	131,108	112,371	91,146	70,332
まごころ病院	入院患者数	14,524	13,764	11,790	14,094	12,479	11,338
	外来患者数	52,785	53,505	52,721	52,915	51,111	45,144
	小計	67,309	67,269	64,511	67,009	63,590	56,482
前沢診療所	入院患者数	-	-	-	-	-	-
	外来患者数	1,578	5,256	7,271	7,796	8,508	8,044
	小計	1,578	5,256	7,271	7,796	8,508	8,044
衣川診療所	入院患者数	1,592	1,776	1,673	2,153	1,897	1,579
	外来患者数	13,852	13,684	13,760	13,230	12,041	10,476
	小計	15,444	15,460	15,433	15,383	13,938	12,055
衣川歯科診療所	入院患者数	-	-	-	-	-	-
	外来患者数	7,211	7,003	6,713	6,779	5,997	5,370
	小計	7,211	7,003	6,713	6,779	5,997	5,370
合計	入院患者数	64,527	62,075	58,534	53,195	41,169	31,940
	外来患者数	164,378	166,924	166,502	156,143	142,010	120,343
	総合計	228,905	228,999	225,036	209,338	183,179	152,283

4 病床利用率

(単位：%)

施設名・病床数	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
総合水沢病院・145床 (95床)	91.5	87.9	85.2	69.8	49.1 (77.0)	35.9 (52.6)
まごころ病院・48床	82.7	78.6	67.3	80.4	71.0	64.7
衣川診療所・19床	22.9	25.6	24.1	31.0	27.3	22.8

5 訪問看護件数

施設名	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
総合水沢病院	1,196	1,903	2,818	3,653	4,527	5,034
まごころ病院	2,009	1,838	1,470	1,425	1,416	1,646
前沢診療所	1,578	1,265	1,175	1,069	1,109	940

6 手術件数

施設名	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
総合水沢病院	768	674	688	630	529	250
まごころ病院	59(☆)	31(☆)	74	91	77	68

※歯科分は除く

(☆)内視鏡手術分を含まない

7 検診件数

施設名	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
総合水沢病院	5,933	6,030	6,064	5,968	5,442	4,005
まごころ病院	572	502	453	474	455	487
前沢診療所	-	109	142	188	249	309
衣川診療所	351	307	349	364	404	360
衣川歯科診療所	20	20	27	20	44	27

【患者数減少の要因】

総合水沢病院においては、令和2年3月末で常勤医師4人（整形外科医2人と循環器内科医1人、麻酔科医1人）が退職した影響により、入院・外来患者数が大きく減少した。

医療施設全般では、新型コロナウイルス感染症の影響で患者の診療控えや長期処方などによる再診期間の延長を図ったことが要因と考えている。

8 収益的収入及び支出（税抜）

単位：千円

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (見込み)
収入	5,469,879	5,207,759	5,150,446	5,005,747	4,368,830	4,043,483
支出	5,034,645	5,222,284	5,258,567	5,313,728	4,805,374	4,471,242
純損益	435,234	△14,525	△108,121	△307,981	△436,544	△427,759

【経営改善に向けた取組み】

■総合水沢病院

令和2年9月から地域包括ケア病床を18床に増床（5床）したことに加え、診療報酬増の取組により約9,571千円の増加を図った。また、令和3年4月から地域包括ケア病床を30床に増床して収入の確保に取り組んでいる。

■まごころ病院

地域包括ケア病床を22床へ増床（4床）することを目指し検討中。

■前沢診療所

市の検診等と連携し、受診率の向上と検診結果に基づく診療の案内を行い、患者数の増を図る。

他医療機関から放射線検査や臨床検査の受託を実施し、民間との連携や診療収入の向上を図る。

■衣川診療所・衣川歯科診療所

診療所においては、オンライン診療を行うことによる患者数の増加を図る。

歯科診療所については、訪問診療を行うなど積極的に治療を行う体制を整備して患者数の増を図っていく。

(2) 前沢診療所における診療等の状況について

①地域包括医療及び予防医学の取組みについて

前沢診療所は、地域の頼れる「かかりつけ医」として「地域の癒しの場として安心して気軽に通える施設にします」「地域住民の健康を守るために必要なことを考えていきます」「医療、保健、福祉の啓発活動を積極的に行っていきます」の運営目標を持ち、地域包括医療及び予防医学の取組みを行っている。

具体的には、平成28年度からさわやか健康セミナーの開催や健康講話等を前沢診療所はもとより、前沢総合支所をはじめ地区センターや地域の自治公民館に所長が出向き、新型コロナウイルス感染拡大前の令和2年2月まで32回開催し、住民が住み慣れた場所で安心して一生その人らしい自立した生活ができるように取り組んでいる。なお、新型コロナウイルス感染症収束後はこの取組みを再開する予定である。

併せて「人生の物語を大切に作る全人的医療のモデルをめざします」を目標の一つとし、診療をはじめ、さわやか健康セミナー等の地域住民への講演や交流に取り組み、生命・人生・生活の質の向上に取り組んでいる。

②患者数の推移について

年 度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度
外来患者数	3,991	6,096	6,727	7,399	7,104
訪問看護	1,265	1,175	1,069	1,109	940
合 計	5,256	7,271	7,796	8,508	8,044
前年比	-	2,015	525	410	△464
増減率	-	38.3%	7.2%	9.1%	△5.5%

(3) まえさわ介護センターの利用状況と前沢診療所との関りについて

①まえさわ介護センターの利用状況

まえさわ介護センターは、平成 26 年度から平成 28 年度までの 3 年間、平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 年間、市内の社会福祉法人が市の指定管理を受けて介護サービス事業を行っている。

訪問介護事業は、年々利用者が減少し、また従事する人員不足等により令和元年 7 月 1 日から休止している。

通所介護事業及び短期入所生活介護事業は、居宅支援事業所向けに、毎月、曜日ごとの空き状況を伝えるなど積極的に PR を行い、利用者増加につなげている。また、職員不足については他の部署からの応援を受けて実施している。

(延べ利用者人数)

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
1.訪問介護事業	1,908	233	—
2.通所介護事業	6,914	7,314	7,510
3.短期入所生活介護事業	8,067	8,614	9,349
4.居宅介護支援事業	1,164	1,017	1,240

②前沢診療所との関わり

施設の利用者が体調不良等により医療機関を受診する必要がある場合は、まえさわ介護センターから家族に連絡し、それぞれの主治医がいる医療機関を受診しているため、施設と前沢診療所との間での直接的な関りは無く、事務担当者による月 1 度の健康管理総合センターを含めた施設の運営や管理に関する協議と情報交換、その協議に基づく連携などを行っている。

(4)奥州市立病院・診療所改革プラン策定の進捗状況について

①病院診療所改革プラン策定の進捗状況について

近い将来、病院事業の継続した運営が困難になることが懸念されることから、限られた医師・スタッフ・財源の下、市立医療機関として求められる地域医療の提供を将来にわたり持続できる体制を構築するため、「市立病院・診療所改革プラン」の骨格となる、市立医療機関の再編方針(案)について3月25日の新市立病院建設調査特別委員会で議員の皆様にお示しした。

「奥州市立病院・診療所改革プラン」については、6月末を目途に、プランの素案を議員の皆様にお示しするべく、院長所長等会議において、建設候補地の選定の考え方、病床数及び新病院の収支見通し等について説明協議しながら現在策定を進めている。その後、地域医療懇話会、市民の皆様にご説明し、必要な修正を加えた後、9月に予定される胆江圏域地域医療連携会議で了承いただくことを目指し取り組んでいるところである。

②住民説明会の実施方法について

地域医療懇話会を経た後、各地域で開催する予定であるが、時期については現時点では未定。改めて広報等でお知らせしたいと考えている。